

目指すべき中学校のあり方 中間まとめ案

令和3年12月 豊山町中学校施設整備基本構想会議

はじめに

- 1. 教育環境の質的向上
- 2. 快適な学習生活空間・環境への配慮
- 3. 地域コミュニティの拠点形成
- 4. 安全安心な施設環境の確保
- 5. 財政負担を軽減する効率的な施設整備・運営

参考資料

- ①豊山中学校改築に係る意見聴取結果一覧
- ②目指すべき姿・整備内容に対する委員の意見
- ③各種事業手法概要

目指すべき中学校のあり方（中間まとめ）

はじめに

豊山中学校施設整備基本構想会議は令和3年6月からこれまでに5回開催し、この間、委員からの専門的知見に基づく議論を重ね、また、生徒や保護者等からの意見聴取を行ってきた。この資料は、学習環境の質的向上など検討協議課題の5項目に関して、これまでの検討成果に教育委員会の考え方を加えた内容となっている。今後さらに町民アンケート結果などを盛り込み最終まとめとしていく。

1. 教育環境の質的向上

教育環境の質的向上は、生徒の学力向上、豊かな人間性の構築に不可欠である。また、教職員の執務環境を改善することにより、効率的で効果的な教育の実現を図ることができる。

○多様な学習形態への対応

- ・新しい時代の学びの姿に対応するためには、教室間の間仕切りの仕様の検討や、様々な用途に利用できる多目的室の設置など、フレキシブルに利用できる学校施設が望まれる。また、GIGAスクール構想に基づき配布したタブレットを、生徒の学習に有効利用できるよう通信環境の整備や各教室へのモニター設置などが望まれる。
- ・教室は多様な学習形態に対応する机、ロッカーなどの配置が可能な面積、形状等となるように計画することが求められる。
- ・学校施設に設置される各運動施設についても、様々な利用方法に対応できる機能が求められる。グラウンドは現状以上の面積を基本とし、体育館、武道場、プールについては財政負担や地域連携と合わせて検討する必要がある。

○特色ある教育環境

- ・豊山町内にある生涯学習施設(社会教育センターなど)や他の公共施設等との連携が望まれる。また、町内唯一の中学校として、地域との連携も求められる。
- ・生徒が3年間の中学生活で多くの時間を過ごすことから、親しみやすく記憶に残る正門の整備など、町内唯一の中学校として町のシンボルにもなる学校施設が求められる。

○生徒数に対応した空間の確保

- ・豊山中学校施設改築・長寿命化計画によると豊山中学校の生徒数は微増傾向にあり、2040年の525人をピークにその後は微減していくと推測される。新たな豊山中学校では、ピーク時の生徒数に対しても十分に対応できる施設を計画する必要がある。そのため、普通教室に加え、フレキシブルに利用できる余裕教室の確保や、ゆとりのある空間を計画する必要がある。また、普通教室及び机のサイズについては多様な学習形態を考慮した広さの計画が望まれる。
- ・障がいを持つ生徒に対しても、様々な障がいに対応した環境の整備が求められる。また、普通教室と特別支援教室の配置についても、連携などに留意した計画が求められる。

○働きやすい執務環境

- ・生徒や施設の管理、教職員の業務効率向上を図る上でも、教職員が主に利用する職員室をはじめ、保健室や印刷室など管理諸室をまとめて整備することが望まれる。また、各々の執務空間もゆとりをもたせ、将来的な教職員の増加にも対応できる整備が望まれる。
- ・会議室や準備室、学年室(教職員用)の充実も求められる。多様化する教育環境に柔軟に対応するため、教職員が多目的に利用可能な共有スペース、リフレッシュや円滑な情報交換等ができる専用のスペースの整備も求められる。
- ・職員室は多くの関係者や生徒が訪れる場所であることから、入口に受付や相談スペースを設置するなど、訪問しやすい環境とすることも望まれる。
- ・屋外空間の改善として、教職員用の駐車場を十分な台数確保することや転回スペースの確保なども求められる。

計画においての基本項目

- ・1学年180人前後を想定しつつ、各学年6クラス編成が可能な配置とする。
- ・生徒がゆったりと落ち着いて学べるよう、各教室は現状(約63㎡)以上の面積を確保する。
- ・同一学年は同一階に配置できるように余裕教室も考慮した計画とする。
- ・1クラスの生徒数は35人を基準に計画する。
- ・現行の普通教室と特別教室を基本とした計画とする。
- ・普通教室の机サイズはタブレット、教科書、ノートが広げられる大きさを基準とする。
- ・特別教室+準備室を充実させ、様々な教育ができるよう整備する。
- ・タブレットの有効利用ができるようモニターなどを含めた総合的なICT教室環境を計画する。
- ・廊下、階段等は幅を広くするなどにより、生徒の学習の場としての機能を確保する。
- ・現状以上の面積を基本としたグラウンドを計画する。
- ・障がいの種別に柔軟に対応できる教室を計画する。
- ・余裕教室は、今後の教育環境の変化を見込み多目的利用や少人数学習にも対応できるよう整備する。
- ・教職員が生徒の教育に集中できるよう、校務センター化や多目的に利用可能な共有スペースなど働く場所として機能的な職員室を整備する。また、将来の職員増加にも対応できるよう整備する。
- ・休憩室やシャワー、リフレッシュスペースなど、教職員の労働環境の質的向上を図る。
- ・教職員用駐車場の十分な台数確保、ゆとりある駐車スペースを確保する。

更なる検討項目(基本構想・基本計画段階)

- ・情報教育の推進と施設整備の在り方について整備計画を検討する。
- ・食育については給食センターと連携して情報発信を図ることを検討する。
- ・校訓の「創造・責任・健康」が新たな豊山中学校でも実現できる施設を検討する。
- ・体育館、武道場、プールは財政負担や地域連携と合わせて検討する。
- ・廊下側の開放などフレキシブルに利用できる教室を検討する。
- ・職員室の入口に、受付や相談スペースなどの設置を検討する。

更なる検討項目(基本設計段階)

- ・教室内のロッカーは使い勝手が良いようにできる限り大きくできるよう検討する。
- ・プライバシーに配慮した相談室の設置を検討する。

目指すべき中学校のあり方（中間まとめ）

2. 快適な学習生活空間・環境への配慮

生徒にとって日々の学習・生活の場所となる学校施設は、生徒の学習意欲を向上させるためにも、快適な環境づくりが必要である。また、トイレなどの汚れたイメージのある空間は明るく清潔に保ち、学習面だけではなく、生徒の精神面でも安心して利用できる計画とする。

環境面では、地球環境に配慮しつつ生徒への環境教育教材としても利用できる学校施設づくりを目指す。

○快適な学習生活空間

- ・普通教室、特別教室など主要な教室は現状と同様に空調設備を導入し、一年を通して快適な学習空間を維持する。中間期は窓を開放し、自然換気や自然通風が行えるよう計画を進め、学習環境で特に重要な採光は、普通教室を南向きとして計画する必要がある。
- ・トイレでは、生徒数に対して十分な数の便器数の確保はもとより、明るく清潔なトイレへの要望がある。また、教職員からは生徒の指導上トイレは管理がしやすい位置への設置要望がある。
- ・学習施設の機能向上の一方で、生徒間や、生徒と教職員の交流の場所も望まれる。特に生徒間の交流場所は良好な人間関係の構築が図られることから、近年建設されている中学校施設では標準的に設置されていることが多くなっている。生徒と教職員の交流面では、授業内容や学校生活などが気軽に相談できる空間として設置が望まれる。

○環境への配慮

- ・日本では、2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにすることが目標として掲げられている。高い目標の達成には建物の性能に配慮することが必要となる。
- ・自然エネルギーの有効活用や省エネ対策など文部科学省で推進しているエコスクール事業の内容は一般化されてきており、生徒に対しての環境教育の面でも有効に活用されている。新たな豊山中学校では、一般的な環境配慮項目の採用や木質化、木造化なども併せて検討する必要がある。

○だれもが使いやすい学校

- ・国の目標として、令和7年度までに公立中学校施設での車いす使用者トイレ、スロープ等の段差解消、エレベーターの設置が掲げられており、学校を利用する全ての人に対して、やさしい学校施設となるよう、バリアフリー化やユニバーサルデザイン化への対応が求められることから、標準的な内容の採用に加え、LGBT対応トイレの設置や複数言語のサインなど、更なる機能向上を図る必要がある。

計画においての基本項目

- ・普通教室、特別教室には空調設備を設置する。
- ・各室は自然採光、自然換気により明るく過ごし易い環境にする。
- ・普通教室は南向きを基本とし、教室内で十分な自然光が取り入れられる計画とする。
- ・トイレ器具は洋式を基本とし、生徒数に対して十分な数の器具を設置する。
- ・トイレ内の床は乾式とし、清掃しやすく衛生的な施設を計画する。
- ・トイレは、広く明るい空間を計画する。
- ・多様性に配慮したトイレの設置を行う。
- ・バリアフリー化、ユニバーサルデザイン化を徹底する。

更なる検討項目(基本構想・基本計画段階)

- ・ロビーにベンチを設置するなど、生徒間や生徒と教職員の交流場所の整備を検討する。
- ・エコスクールやZEB化など環境に配慮した学校施設整備を行い、環境教育の教材としても利用できる学校に向けた検討を行う。
- ・校舎の構造についてRC造、S造の他、木造も検討する。

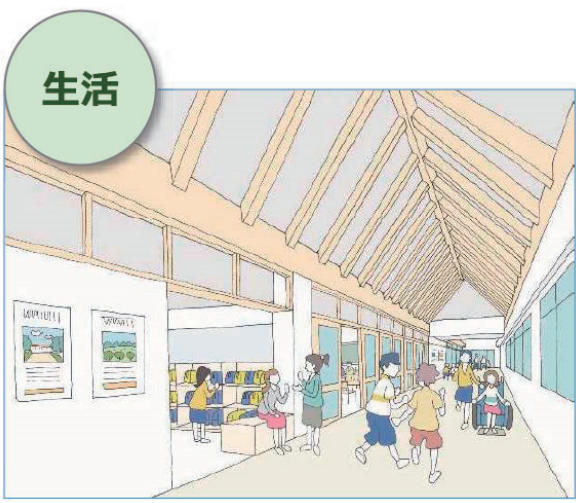
更なる検討項目(基本設計段階)

- ・和式トイレの設置を検討する。
- ・学校のデザイン案に生徒の意見も取り入れるための生徒向けのワークショップ等の開催を検討する。

エコスクール…環境負荷の低減や自然との共生を考慮した学校施設
ZEB…エコスクールの取り組みをより進めたゼロエネルギー化した学校施設



・断熱性能を高め、大人数での多様な活動時にも快適に利用できる大空間のイメージ



・室内木質化や自然採光により、温かみと明るい空間のイメージ

3. 地域コミュニティの拠点形成

学校施設は、生徒の学びの場だけではなく、地域のコミュニティの拠点としても位置づけられ、日頃から学校開放などで多くの町民に利用されている。新しい中学校でも、これまでと同様に学校を開放し、町民が様々な活動で利用できるよう整備を行う。

○中学校と地域の連携・協働

- ・地域開放施設は利用者へのヒアリングや構想会議から、現在豊山中学校で学校開放を行っている運動施設の他にも、町民が利用できる地域活動室やボランティアルームなどの設置が求められる。コミュニティスクール化を実施していくためには、町民が学校へ積極的に参画できる環境が重要なことから、町民利用施設は今後継続して検討する必要がある。一方でセキュリティの観点から、町民が自由に使用できる空間の区分けは明確に行うことが必要となる。出入口も生徒や教職員との交錯を避けるため専用出入口を設けたほうが良いとの要望もある。
- ・学校への参加促進、利用者への配慮として、来訪者が利用しやすい駐車場の整備が求められる。
- ・一般的な地域開放では教職員に対する負担も考慮し、地域が協力してくれる学校づくりとして、地域と学校の話合いの場を設けるなど、学校施設の地域開放には学校運営のソフト面の考え方も重要である。
- ・地域の特性を活かした教育として、地元の産業や歴史について学べる機会の創出が期待されており、そのような観点からも地域開放施設の整備を検討する必要がある。

○地域開放、地域施設との複合

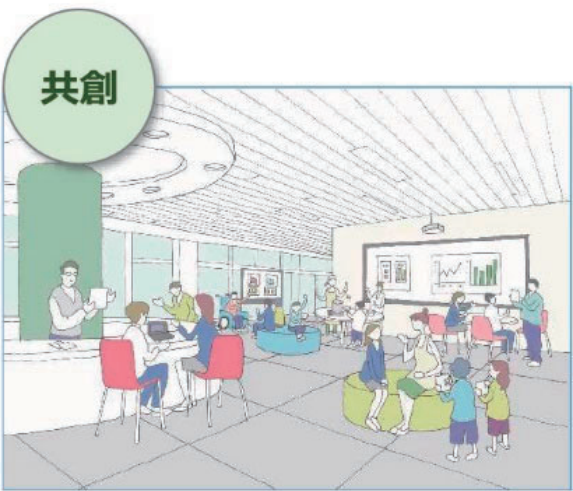
- ・生涯学習の観点から、運動施設としてのグラウンドや体育館・武道場などを町民が利用できる施設として開放することが求められる。また、図書室などの開放も期待される。
- ・町内には社会教育センター等の生涯学習施設があり、体育館や図書室などが整備されている。他の公共施設等との複合化の面から、新たな豊山中学校への体育館や図書室などのあり方を検討する必要がある。

計画においての基本項目

- ・地域開放部分と学校利用部分はセキュリティ区分を明確に計画する。
- ・地域利用者専用の出入口を設け、生徒・教職員との動線交差に配慮する。
- ・十分な数の駐車場を整備し、地域開放や学校行事等で町民が訪問した際に利用できるよう計画する。
- ・グラウンド、体育館等は地域開放ができるよう町民の利用も考慮した配置計画を行う。

更なる検討項目(基本構想・基本計画段階)

- ・町民が自由に利用できる地域活動室を設置するか検討する。
- ・地域のボランティアが利用するボランティアルームの設置を検討する。
- ・学校内に町民が利用できるコミュニティ広場など、学校と地域の交流空間設置を検討する。
- ・町の生涯学習施設機能の一部としてコミュニティスクール化を今後検討し、セキュリティ面では地域の協力が得られるか検討する。
- ・地元の産業や歴史について学べる機会を創出するための施設整備を検討する。
- ・記念碑や記念樹木のあり方について検討する。
- ・地域開放にて利用する各団体の器具保管スペースを確保できるか検討する。
- ・体育館や図書室など他の公共施設等との複合化による効果について今後継続検討する。



・地域コミュニティの拠点として、地域や社会の人たちと連携・協働し、ともに創造的な活動が展開できる共創空間のイメージ



・他の公共施設との複合化・共用化を図り、多様な「知」を集積する共創空間のイメージ

4. 安全安心な施設環境の確保

大規模な災害が発生した際に、学校施設が安全に継続して利用ができるように、また、町の指定緊急避難所として万全の災害対策が取られた計画が必要となる。新たな豊山中学校では、災害時だけではなく、日々の生活の中でも、生徒が安心して過ごすことができる学校となるよう計画を立てる。

○災害に対応した学校

- ・災害の中でも特に人命に影響する地震への対応として、耐震構造による学校施設の計画が望まれる。学校施設は、避難所として利用されることから、中学校の改築に当たっては、文部科学省が定める耐震基準を遵守した上で更なる安全対策を講じる必要がある。
- ・災害発生時の避難所の多くは体育館が利用されているが、更衣室やシャワー、トイレなどの設置の要望がある。また、災害時であっても空調設備の利用や障がい者が不便なく利用できる施設も求められる。
- ・災害発生後に通常授業を再開するためには、避難所として利用される部分と学校として利用する部分のゾーニングを検討する必要がある。

○日常の安全性確保

- ・学校内への不審者侵入防止対策として、校門を職員室から視認しやすい位置に設置、学校周囲のフェンスを乗り越えられない高さとするなど、教職員や保護者から特に強い要望がある。一方、地域とのつながりを重視するには開放性も必要となるため、運営面での対応方法を含め検討が必要となる。
- ・感染症対策として、十分な手洗い場の設置が求められる。
- ・敷地内への緊急車両進入の場合を想定し、消防車等が通れる門の広さや周辺道路からの進入のしやすさ等が求められる。

計画においての基本項目

- ・校舎は耐震構造を基本とし、重要度係数は文部科学省の構造設計指針に則り 1.25 以上とする。
- ・避難所として必要な機能、施設について、防災担当部局と連携しながら計画する。
- ・窓をはじめとする開口部からの侵入防止、地域開放に伴う利用者の増加に対して適切な安全性が確保できるよう計画する。
- ・生徒、教職員及び学校施設利用者のプライバシーに最大限配慮しつつ、不審者侵入の防止を図るため、防犯カメラを適所に設置する。
- ・感染症対策として有効である手洗い場を適所に設置する。
- ・保健室と職員室を近接させるなど、生徒の安全管理に目が届きやすい環境を整備する。
- ・緊急車両が通れる門の広さ、周辺道路からの進入のしやすさに配慮する。

重要度係数…建物の重要度に応じて必要保有水平耐力を割り増す係数

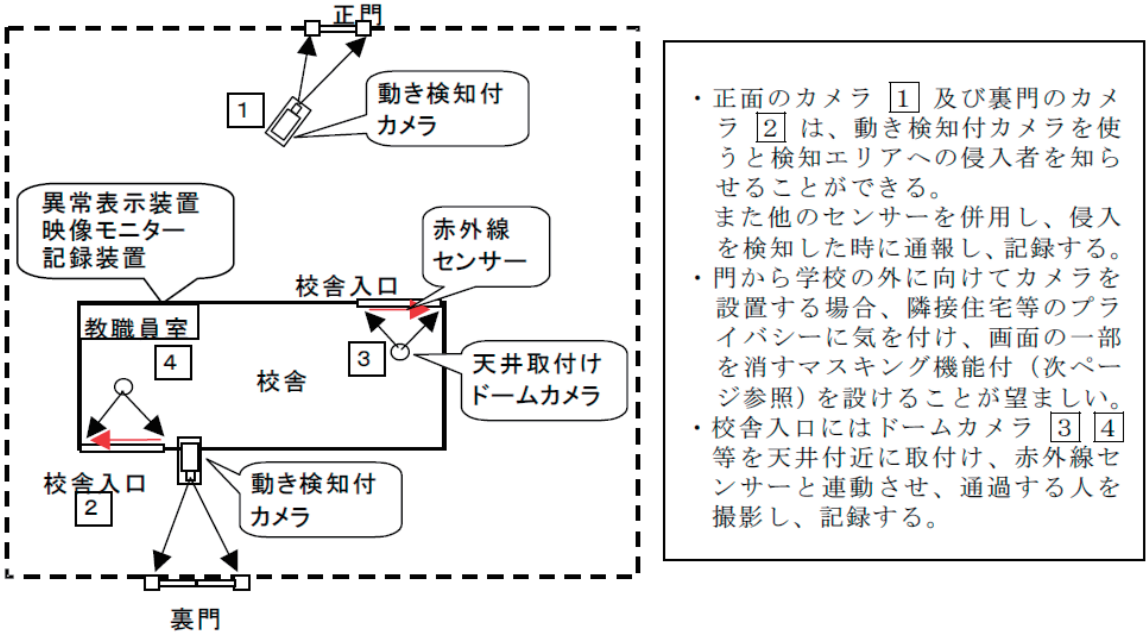
更なる検討項目（基本構想・基本計画段階）

- ・避難所となる体育館に災害時も利用できる空調設備(大人数利用も考慮)の設置を検討する。
- ・災害発生時の拠点として、避難者が安全・安心に利用できるよう災害備蓄倉庫や設備の設置を検討する。
- ・災害発生後でも早期に授業開始が可能となるよう適切なゾーニングを検討する。

避難所に指定されている公立小中学校	95.7%
うち防災機能（設備）の保有状況	
（備蓄）	74.0%
（飲料水）	67.6%
（電力）	53.1%
（通信）	78.8%
（断水時のトイレ）	51.3%
うち屋内運動場について要配慮者の利用が想定されているもの	91.9%
うちスロープ等の設置による段差解消	62.0%
うち多目的トイレを設置	33.5%
うち校舎について要配慮者の利用が想定されているもの	69.5%
うちスロープ等の設置による段差解消	63.8%
うち多目的トイレを設置	59.7%

【時点】平成 29 年 4 月 1 日
【出典】避難所となる公立学校施設の防災機能に関する調査

・避難所に指定されている公立小中学校のうち、約半数の学校ですべての防災設備が備えられている。



・日常の生徒の安全を確保するための侵入者対策例(監視カメラ設置例)イメージ

目指すべき中学校のあり方(中間まとめ)

5. 財政負担を軽減する効率的な施設整備・運営

新たな豊山中学校建設は、建設費用、将来的な維持管理費用ともに町の財政への負担が大きな事業となる。適切な事業手法の選定や効率的な施設整備・運営がなされないと、当初見込んでいた費用から更に増額し、財政状況の悪化につながる可能性がある。そのため、事業手法及び施設整備・運営を最適化した上で事業を進めていく。

○計画的な整備、敷地利用の効率化

- ・ゆとりのある学校の整備は教育環境、学習環境として非常に優れている。一方でゆとりをもたせることで学校全体の床面積が増加する傾向にあり、床面積が増えると建設時の工事費も増加する。生徒・教職員へのヒアリングにより、要望として挙げられた教室の確保は前提としつつ、共用化が図られる教室の配置など効率的に学校が機能できるよう計画する必要がある。
- ・改築期間中の学習環境、学校生活について、生徒や保護者から心配の声があることから、生徒の負担を極力減らす配慮が必要である。
- ・改築工事を行っている際の安全性についても教職員、保護者から要望がある。改築工事に当たっては、町民及び生徒に対して工事中に大型車両が通る際の安全確保が十分になされるか、校庭の利用ができるか等の検証が必要である。
- ・新たな豊山中学校の建設場所については、工事期間中の学習環境、学校生活への影響のほか、町の財政に与える影響が大きな課題となる。現地建替えの場合は仮設校舎の費用、新規の土地取得では買収費用など多額の費用を要することとなる。今後、財政負担の視点からも建設場所について具体的な数値に基づき検討する必要がある。

○維持管理に配慮した施設計画

- ・長寿命化計画では学校施設の想定耐用年数を 80 年と定めている。建築物は定期的なメンテナンスが必要なため、適切な時期に適切な改修を行うことができるよう、中長期の修繕計画を立案し、将来の修繕費用を把握するとともに、町の財政への影響が最小限となるよう計画する必要がある。
- ・学校施設の維持管理にかかる費用は、建設費用を 1 とした場合、維持管理にかかる費用はおおよそ 1.8 となる。そのため、新たな豊山中学校建設では、維持管理費全体の縮減が図れるよう、メンテナンス性に優れた建材の使用や、効率的な配置となる平面計画などを行う必要がある。
- ・ICT 教育に対応する機器は、設置型を採用すると将来の機器更新の際に利用ができなくなる可能性があることから、普通教室や職員室などはゆとりをもたせ、将来の更新に対応できる計画が求められる。

計画においての基本項目

- ・余裕教室を考慮した計画とし、**効率的で将来の改修も考慮した学校施設計画**を行う。
- ・**中長期修繕計画**を作成し、改築時より将来発生する維持管理費用を想定する。
- ・維持管理費削減が図れる**メンテナンス性に優れた建材**を利用する。
- ・機器更新の際に大規模な改修が発生しないよう、**ゆとりをもたせた教室**を計画する。

更なる検討項目(基本構想・基本計画段階)

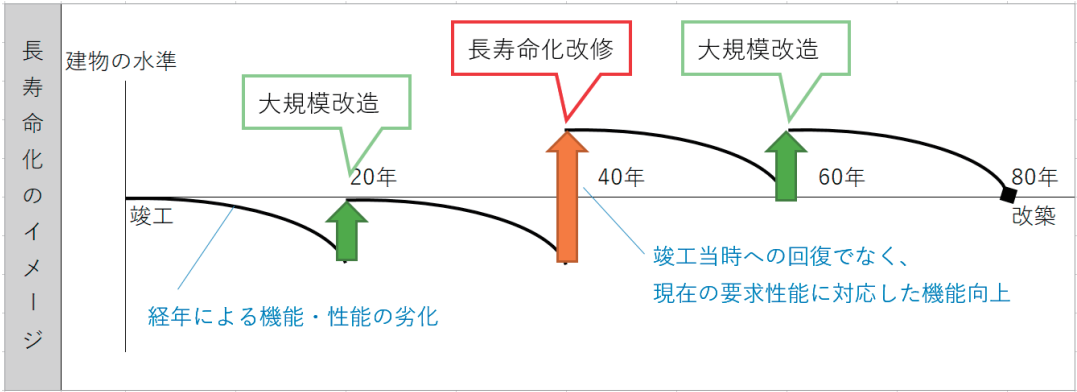
- ・**効率的な平面計画・配置計画**を行い、適正な規模、工事費となるよう検討する。
- ・新たな豊山中学校建設地については、**工事期間中の学習環境や財政負担**の視点から検討する。
- ・**町の財政状況を踏まえた最適な事業手法を選定**する。
- ・体育館、武道場、プールのあり方については、**町の財政負担**にも考慮した計画を検討する。

更なる検討項目(基本設計段階)

- ・改築工事中の**騒音、粉塵、車両通行など町民が安全・安心に生活できる環境への配慮**を検討する。



・工事中の安全対策例



・学校施設の長寿命化のイメージ

豊山中学校改築に係る意見聴取結果一覧

実施概要

項目	生徒	教職員	保護者	各関係団体	教育経験者
○ 実施日	令和3年8月26日	令和3年8月26日	令和3年9月8日	令和3年9月29日	令和3年10月5日
○ 実施場所	豊山中学校ランチルーム	豊山中学校ランチルーム	豊山中学校ランチルーム	豊山町役場会議室 1	豊山町役場会議室 3・4
○ 参加者 ・人数	豊山中学校生徒会執行部5名	豊山中学校教職員8名 (教務主任始め教員6名、養護教諭 1 名、事務職員1名)	豊山中学校PTA役員8名	学校開放関係団体役員等12名 (豊山町体育協会3名、豊山町文化協会3名、豊山町スポーツ少年団3名、豊山町子ども会連絡協議会3名)	元教育委員会委員5名
○ 質問項目	・新しい豊山中学校の建設について期待することや大切にしたいこと、目標としたいこと等がありましたら教えていただけますでしょうか。 ・新しい豊山中学校の建設について疑問に思うこと、心配していること等がありましたら教えていただけますでしょうか。 ・現在の豊山中学校で好きな場所があれば教えていただけますでしょうか。 ・現在の豊山中学校で嫌いな場所があれば教えていただけますでしょうか。 ・新しい豊山中学校に引継ぎたいものがあれば教えていただけますでしょうか。 ・どのような学習環境であれば勉強に集中できると思いますか。 ・どのような空間があれば学校生活が楽しくなると思いますか。 ・生徒間での交流を行うためにどのような場所があれば良いと思いますか。 ・豊山町らしい学校づくりに向け、イメージするキーワード等がありましたら教えていただけますでしょうか。	・新しい豊山中学校の建設について期待することや大切にしたいこと、目標としたいこと等がありましたら教えていただけますでしょうか。 ・新しい豊山中学校の建設について疑問に思うこと、心配していること等がありましたら教えていただけますでしょうか。 ・新しい豊山中学校に引継ぎたいものがあれば教えていただけますでしょうか。 ・快適な学習生活空間を確保し、教育環境の質を向上させるために必要と思われることについて教えていただけますでしょうか。 ・新しい豊山中学校で重要だと思う立地環境について教えていただけますでしょうか。 ・教職員が教育に専念できる働きやすい空間についてどのような場所や機能が必要か教えていただけますでしょうか。 ・防犯対策や学校運営を行う上で、職員室の場所(グラウンドや校門が見えるなど)について要望があれば教えていただけますでしょうか。 ・豊山町らしい学校づくりに向け、イメージするキーワード等がありましたら教えていただけますでしょうか。 ・新しい豊山中学校で最も充実させたい施設について教えていただけますでしょうか。	・新しい豊山中学校の建設について期待することや大切にしたいこと、目標としたいこと等がありましたら教えていただけますでしょうか。 ・新しい豊山中学校の建設について心配していること等がありましたら教えていただけますでしょうか。 ・新しい豊山中学校に引継ぎたいものがあれば教えていただけますでしょうか。 ・子どもたちが安全に学校で生活するために必要と思われることについて教えていただけますでしょうか。 ・新しい中学校にどのような場所があれば子どもたちの学習意欲が向上すると思われるでしょうか。 ・保護者が学校を利用する上で、充実させたい機能があれば教えていただけますでしょうか。 ・豊山町らしい学校づくりに向け、イメージするキーワード等がありましたら教えていただけますでしょうか。 ・新しい豊山中学校で最も充実させたい施設について教えていただけますでしょうか。	・新しい豊山中学校の建設について期待することや大切にしたいこと、目標としたいこと等がありましたら教えていただけますでしょうか。 ・新しい豊山中学校の建設について心配していること等がありましたら教えていただけますでしょうか。 ・新しい豊山中学校の学校開放について、求める機能を教えてもらえますでしょうか。 ・現状の利用状況を踏まえ、豊山中学校を利用するにあたり、駐車場の整備要望を教えてください。 ・豊山町らしい学校づくりに向け、イメージするキーワード等がありましたら教えていただけますでしょうか。	・新しい豊山中学校の建設について期待することや大切にしたいこと、目標としたいこと等がありましたら教えていただけますでしょうか。 ・新しい豊山中学校の建設について心配していること等がありましたら教えていただけますでしょうか。 ・これまでの経験から、快適な学習生活空間を確保し、教育環境の質を向上させるために必要と思われることについて教えていただけますでしょうか。 ・教職員が教育に専念できる働きやすい空間についてどのような場所や機能が必要か教えていただけますでしょうか。 ・学校の防犯対策や学校運営を行う上で、重要な点を教えていただけますでしょうか。 ・豊山町らしい学校づくりに向け、イメージするキーワード等がありましたら教えていただけますでしょうか。

意見聴取結果

項目	生徒	教職員	保護者	各関係団体	教育経験者
○ 教室 エリア	・ 教室数が不足している。教室内のロッカーが不足していて不便である。 ・ 2年生は4クラスあるが、A組だけ離れた位置にある。階が違うのに上にも行けない。	・ G I G Aスクール構想を見据えたゆとりある教室 ・ 現況ではフロアが分かれているので、不公平感のない配置としてほしい。 ・ 教室が狭い、広さが欲しい。 ・ 二重窓などによる遮熱。明るさ確保。 ・ 教室外部のベランダの底も小さいので、雨が降り込む。窓を閉めるがコロナ渦で換気が心配。 ・ 教室のロッカーが小さい。出し入れにくい。 ・ 教室の広さやタブレットの保管方法（ロッカーや机）などを考慮してほしい。 ・ 教育多様化や個別対応ができる教室としたい。T Tルーム、学習室があると良い。 ・ 生徒指導上、1フロア1学年が良い。バリアフリーでスムーズに移動ができると良い。 ・ 教室の北側（廊下側）に窓があると良い。 ・ 上下の黒板がほしい。	・ 1学年が1フロアに収まるようにしてほしい。 ・ 教室が狭いと思う。参観日には保護者が溢て廊下から参観している。人口の増減を見込んで適切な設計を行ってほしい。	・ 年度によってクラス数が違うから仕方ないかもしれないが、学年で階が固定されるとよい。学年毎に教室の階が定まっていないため生徒も迷うことがある。 ・ 1階3年生の教室から体育館へ行く扉が開けっぱなし。防犯上よろしくないのでは。1階には教室がない方が良いのかもしれない。	・ 校内盗難防止のため各教室に鍵を設置してほしい。また、外部侵入者対策として割れにくい窓にする。
総括	共通して、学年が1フロアで収まっておらず不便という意見が挙がっている。 また各関係団体と教育経験者より防犯について懸念する意見もあり、1階の安全な施設配置が重要である。 全体的に教室の広さや室数、収納スペースの狭さについての意見は、どの関係者にも共通して挙がっている。				
○ 特別教室 エリア	・ 音楽室：机が変わり性能が良くなった。以前の木製机はめくれなどでケガをしそうだった。	・ 特別教室への移動動線の工夫。 ・ 機材備品を置く倉庫があると良い。準備室と区別をしてほしい。 ・ 特別教室の準備室が狭い。	・ 特別教室を広くしてほしい。		・ 特別教室に相応の準備室が無いと授業がやりづらい。
総括	教職員や教育経験者より準備室の狭さと不足についての意見が挙がり、相応な準備室確保の要望があった。他には、共通して特別教室の狭さについての意見が多い。				

豊山中学校改築に係る意見聴取結果一覧

項目	生徒	教職員	保護者	各関係団体	教育経験者
○ その他 学習関係 エリア	・ 生徒会室を広くしてほしい。空調がなくて寒い。生徒会活動は活発である。3年生の教室から遠い。 ・ 英語部の部室がない。現状は教室で活動している。学校で国際交流を行っているのでスピーチ活動を行える広い部屋がほしい。 ・ 図書館とは別に資料室があると良い。教科書以外の資料（歴史、公民、地理など）をいろいろ調べたい。インターネットでも可。 ・ テスト週間などに放課後でも使える学習室や自習室があると良い。現在は部活の終わる18：00頃までしか使えない。 ・ 図書室の入口側は広いが、奥の棚が入りにくい。教室から遠いので使用頻度が低い。 ・ 運動部を増やしてほしい。（陸上部など）文化部も増やしたい。 ・ 吹奏楽演奏用の部屋があると良い。音楽室から体育館までの移動が大変。 ・ 屋上テニスコートからクラブハウスまでが遠い。 ・ カウンセラー室が武道場横にあるが、部活動（更衣室、倉庫等）で使用している。	・ 各学年に学年室（教育相談室）が欲しい。（現状は、3年生にはない。） ・ カウンセラー用の独立した相談室があると良い。	・ 音楽室が狭く入りきれない。吹奏楽部が全員で合奏できるように広くしてほしい。 ・ 個人のスペースで勉強に集中できるような環境があると良い。例えば図書館のような個別スペース。 ・ 放課後の自習室があるとよい。		
総括	共通して個別で使える学習室や教育相談室等の設置、図書館の個別スペースや資料室などの充実を要望する意見が挙がっている。部活動については、各部活の部室や活動室が不足していると生徒からの意見が多くあった。				
○ 職員室 エリア	・ 職員室の入口にファンクションがあると良い。相談室のようなイメージ。 ・ 圧迫感がある。開かれた雰囲気ではない。	・ 清須市は1クラス分の大きさがある職員室分室が各階にある。そこでパソコンなど作業もできると良い。 ・ 給与関係などの教員の個人情報扱う端末は、別で事務室があると良い。 ・ 職員室が狭い。現在の職員数は50名程度。			・ 職員室が閉鎖されている。生徒が入りやすい雰囲気の職員室があるとよい。 ・ 職員室をオープン化するのは良いが、小学校ではないので、開きすぎるのは中学校では良くないと思う。 ・ 先生の要望を直に聞いてほしい。 ・ オープンにする部分とそうでない部分をきっちりと分けてほしい。職員室の機能や環境をヒアリングすると良い。
総括	生徒や教育経験者より、現在は閉鎖的であるため、入りやすい雰囲気の職員室が良いとの意見があった。しかし、オープンにする範囲については、教職員に十分なヒアリングをしてほしいとの意見もある。また、実際使用している教職員からは、職員数に相応しい広さと業務内容を考慮した諸室、職員室分室の設置などの要望が挙がっていた。				
○ 管理 エリア	・ 教材室などがある東の方は、薄暗い雰囲気好きではない。	・ 会議室があった方が良い。 ・ 保健室の位置は職員室の近くにしてほしい。 ・ 事前に食材アレルギー調査をした方が良くかと思っている。 ・ 職員更衣室にシャワーがあると良い。 ・ サーバー室の書庫や印刷室など、できる限り集約してほしい。職員室付近が良い。 ・ 職員休憩室があると良い。 ・ 体育教官室があるとありがたい。 ・ 男性職員トイレに大便器が1つしかない。			
総括	管理エリアについては、実際に使用している教職員からの意見が多く、会議室や休憩室等の設置、効率的な管理諸室のレイアウトなどの様々な要望が挙がっている。				

豊山中学校改築に係る意見聴取結果一覧

項目	生徒	教職員	保護者	各関係団体	教育経験者
○ トイレ エリア	・女子は洋式トイレを増やしてほしい。複数クラスが一斉に使用すると行列ができる。(男女共) ・体育館のトイレが遠い。 ・豊山小学校保健室のトイレのような乾式床が良い。 ・シャワートイレはどちらでも良い。 ・明るいトイレが良い。荷物を置けるスペースがほしい。	・トイレの位置を考慮してほしい。 ・トイレは、生徒指導しやすいようにあまり入り組んでいない方が良い。	・トイレを洋式にしてほしい。子ども達が我慢していると聞く。 ・小学校によってはトイレが足りないと聞く。トイレ数には余裕をもってほしい。 ・今の段階では和式は1つぐらいあった方がよいかもしれないが、10年後は必要ないのではないかな。 ・便座を拭く消毒液があった方がよい。	・体育館のトイレには窓がなく、階段踊場の照明もないため夜間は暗い。改善してほしい。 ・新栄小のトイレは男女が扉で繋がっていて行き来ができてしまうが問題ないのか。 ・トイレは臭いけど、和式便器があるのは良いと子どもからは聞いている。 ・男子トイレにカーテンで仕切られている場所があるらしいが、それも良いと聞いている。	・洋式が人気すぎて、仕方なく和式を使っていると聞く。洋式が広ければ使うと思う。 ・公園のトイレは和式なので、学校に和式があるとのいのでは。 ・学校に和式があるから覚えるが、無くなれば覚えるということも無くなる。 ・会社で和式と洋式あるが、和式はだれも使わない。 ・潔癖な子は腰を浮かせて用を足すと聞く。 ・そのような子は自分で拭く、そこまでのサービスをする必要はないのでは。それを含めて教育することも必要である。 ・便利なこともよいが、覚えさせる必要もあるのでは、あまりに便利にしすぎるのはいかがかと思う。
総括	生徒や保護者からは洋式化や乾式化を望む意見が多いが、各関係団体と教育経験者からは、洋式便器と和式便器については意見が分かれている。レイアウトについては、教職員から適所に配置と管理のしやすさについて意見があった。共通して、余裕のある明るいトイレを適所に配置し、多様性をふまえたトイレの設置についての意見が挙がっている。				
○ 運動場	・テニスコートが他校（天神中学校参考）に比べ少ない。最低でも4面欲しい。(現状：運動場2面、体育館屋上1面) ・運動場を広くしてほしい。体育祭でも手狭である。 ・100M直線トラックが取れない。部活動は、サッカー、野球、テニスが同時利用している。 ・屋上テニスコート：鳥の死骸がよくある。屋根が低くロブ練習ができない。	・屋上テニスコートは魅力だが、教員の目の届く場所にあった方が良い。 ・グリーンサンドグラウンドは、怪我しやすいので、水はけのよい土のグラウンドが望ましい。 ・200Mトラックが野球のマウンドに干渉しないように設置できると良い。 ・100M直線トラックを取ると、ゴールがバックネットとぎりぎりになるので、余裕を持って取れると良い。	・グラウンドのナイター施設を充実させてほしい。 ・テニスコートが少ない。練習試合が出来ず、天神中学校で行っている。	・ナイター照明が暗い。影ができないような作り方にしてもらえるとよい。 ・グラウンドに日陰がないので、子供が休憩できる場所があるとよい。 ・グラウンド内に緑地帯も必要だと思う。熱中症対策。 ・少年野球では使うことはできるが、現在の中学校の広さでは大人が野球を行うことは難しい。 ・グラウンドの土については、水はけのよい土を使って欲しい。砂埃等の問題があるので土の種類などの要望を聞いてもらえると有難い。	・運動場が今少し狭いと思う。広くしてもらえると喜ばれるのでは。
総括	共通して、テニスコートの不足やトラックが配置できないなどの支障をきたしており、運動場の狭さについての意見が多い。また、各関係団体や他関係者からナイター照明やグラウンドの土、緑地帯などの仕様についての要望があった。				
○ 体育館	・体育館では、1/4毎に部活動で使用している。 ・2階に観覧席があるのが良い。	・体育館移動について、一旦外に出るが、できれば室内で納まるようにしてほしい。 ・体育館の観客席は良いが、フロアが小さめである。正式な大きさのバスケットコートが2面取れると良い。現在はバドミントンコートが取れない。 ・砂埃が体育館に入らないように工夫してほしい。	・体育館で行う部活動は1/4毎のスペースで行っていて狭い。2階建の体育館やエアコン完備、更衣室が別であると良い。(名古屋市内高校の例)	・豊山グラウンド中心利用、各学校体育館を使っている。豊山の人が十分に使えるようにしてほしい。 ・体育館が2面あるのに1面しか使用できない。 ・バレーで中学校を使用することはあまりなく、年数回程度である。特に不便を感じたことはない。新栄小では、体育館の鋼製扉、鋼製格子で指を挟み怪我をする人が多い。 ・体育館の器具庫が狭い。 ・子どもが通っているが、体育館は観覧席があり自慢できると聞いている。 ・体育館、道路から丸見え、防犯上よろしくないのでは。 ・サブの体育館があると良い。	
総括	体育館について、各関係団体からの意見で、利用者目線から器具庫の不足や鋼製建具による事故、防犯上の問題点についての意見が挙がっている。体育館の観覧席は共通して好印象である。部活動では、各部で1/4毎での使用となるため、体育館の狭さや体育館までの動線、空調、更衣室の完備を要望する意見もあった。				

豊山中学校改築に係る意見聴取結果一覧

項目	生徒	教職員	保護者	各関係団体	教育経験者
○ 武道場				・ 柔剣道場を使用しているため、工事期間中に練習ができない状況があると困る。 ・ 卓球台置きっ放しなので、倉庫に収納できるとよい。 ・ 柔剣道場、クーラーがついていない。窓を閉めて太鼓を打ちたい。 ・ 音が外に漏れないように対策を取ってほしい。	
○ プール	・ 屋根が開くところが好き。 ・ 温水が良い。	・ 室内プールの使い勝手が良い。今後、授業でプールをやらないという話もあるが、屋根付きプールは魅力的である。引き継いでほしい。	・ プールは、学校に設置しなくてはならないのか？		・ プールはいらないのではという意見もあった。3日程度であれば近隣で借りて授業をやればよいのでは。 ・ 建替であれば、中学校跡地に地域の運動場とプールをという意見もある。
総括	武道場は、良く利用されている各関係団体より器具庫の拡充や空調、防音等についての意見が挙がっている。プールは、生徒や教職員からは、室内プールについて好印象ではあるが、一方で保護者や教育経験者より必要性についての意見があった。また、有効活用の観点から、建替となった場合に既存中学校の運動場とプールの地域開放の意見も挙がっている。				
○ 共用エリア	・ 学年を超えた生徒同士で話し合える場所や先生と生徒が話し合え、助けえる場所があるとよい。 ・ 1～3年がしゃべることがない。交流できるようなベンチなどがあると良い。大きい部屋とよりは、オープンスペースのイメージが良い。 ・ 豊山小学校のようなふれあい広場のようなスペースがあると良い。 ・ 体育時の更衣室と共用のため、生徒会室が使えない時がある。更衣室が充実していると良い。 ・ 生き物を飼える場所があると良い。	・ 下駄箱が小さい。 ・ 学年ごとに階段があると良い。 ・ 教室と手洗いの距離が短いと良い。また手洗いの数も多い方が良い。 ・ 作品の保管スペース、棚などが欲しい。 ・ 共用の掲示板を使いやすくしてほしい。 ・ 昇降口の底が小さいので、雨の日に生徒が密集する。 ・ 不審者が入りにくい工夫、1階が簡単に施錠できると良い。 ・ 教育相談、カウンセラー、不登校生徒等に配慮して、出入口を分けることは問題ない。		・ 雨の日、校舎内の階段が滑りやすい。滑りにくい階段を。	
総括	階段について、各関係団体からは雨天時の配慮、教職員からは箇所数について意見があった。その他の意見として、手洗いの配置や個数、保管スペースなどの要望があった。生徒からは、オープンスペースなどコミュニケーションスペースの要望が多く挙がっている。教職員からは、多様な生徒に配慮した出入口の設置や不審者対策の意見が挙がっている。				

豊山中学校改築に係る意見聴取結果一覧

項目	生徒	教職員	保護者	各関係団体	教育経験者
○ 屋外 エリア		・ 駐車場に余裕がほしい。 ・ 屋外にも多目的トイレを設置してほしい。 ・ ゴミ集積場が校内にあると良い。 ・ 門は少ない方が管理がしやすい。 ・ 駐車場は、中型バスが入れるぐらいの大きな門があると良い。 ・ 駐車場の区画が狭い。 ・ 改築場所は、生徒の通学路にきちんとした歩道がある場所にしてほしい。 ・ 現在の豊山中学校は校地内に花壇がきちんと整備されており、雑草等の管理がしやすい。引き継いで欲しい。 (例：西枇杷島の雑草の問題)	・ 緊急時の大型車両が入り難い。門が簡単に開かない。道幅も狭い。 ・ 通学路について、現在は歩車分離がされていない。ガードレール、路側帯などの検討。 ・ 防犯カメラは必須である。 ・ 不審者が簡単に入れないように配慮してほしい。 ・ 防災面で備蓄する場所が狭い。 ・ 駐車場も狭い。	・ グラウンド、体育館、利用が重なると駐車場がない。 ・ 駐車場が暗く段差がある。安全上改善してほしい。 ・ 防災面より、消防車等の大型車両がグラウンドに入れるよう門扉など改善してほしい。 ・ 防護ネット等ドクターヘリの対応も検討した方が良いのでは。 ・ 駐車場が狭く、車がうまく切り返せない。 ・ 他校からくる際の駐輪場がない。屋根付の駐輪場がほしい。 ・ 防犯カメラは必要である。 ・ 避難訓練や消火活動に使えるよう60mmのホースの取口を設置してほしい。	・ 最近は送り迎えをする親が多いが、道が狭く駐車場所がわかりにくい。 ・ 不登校の子が車を駐めて、車から降りる時間を待っている場所がない。 ・ 送迎車が待機できるロータリーがあると良い。 ・ 子供の横断があるので危険である。 ・ 先生は外に駐車場を借りることは考えないのか。子供の登校時と先生の出勤時間がかぶるので、敷地内に駐める前提でなくてよいのでは。安全面を配慮してほしい。 ・ カメラ5台では少ないと思う。たくさん防犯カメラを設置するとよい。 ・ 植栽は管理が大変なので望まない。 ・ 見に行った学校では記念樹はあった。モニュメントや記念樹はあっても良い。緑は少ないのもっとあっても良い。緑があると子どもにはよいと思う。
総括	駐車場については、共通して駐車場が狭く使いにくいという意見があった。送迎の際の車の待機所や教職員の出勤時間との干渉を懸念する意見もあった。駐車場以外では、緊急時の大型車両の進入箇所（門扉）の不足、備蓄倉庫等の防災面についての意見やカメラ等の安全面についての意見が挙げられた。植栽については、教育経験者からは記念樹などの緑地化について意見はあったが、管理面での懸念について望まないという意見もある。				
○ 什器 ・備品	・ タブレットを使うことによって荷物が置けない。大きい机の方が良い。	・ タブレットを投影するモニターなどの環境を各クラスにほしい。 ・ 各教室でタブレットを活用できるようにしたい。 ・ I C Tで大型モニターを各室に欲しい。			
総括	教職員からタブレットの有効利用についての意見が挙げられている。I C T化やG I G Aスクールに対応したモニター等の設備やタブレットを使用する際の机の大きさについての意見があった。				
○ 設備機器	・ 広めのエレベーターがあると良い。（現状はティンパニーや液晶ＴＶが乗らない）	・ 体育館にも空調がほしい。 ・ 内線電話の設置位置を工夫してほしい。 ・ または、職員のＰＨＳの携帯など。 ・ 緊急放送を各教室につけられないか。あれば良いかと思う程度である。 ・ 室外機の設置場所を校舎内の室温に影響がない場所をしてほしい。騒音や廃熱対策。 ・ I C Tを取り入れた時、通信しやすい環境にしてほしい。	・ 避難所として考えるのであれば、体育館に空調がほしい。太陽光発電の導入。 ・ IT環境の充実をしてほしい。自宅学習などオンライン授業などの検討。 ・ 武道場にもエアコンがあると良い。 ・ 授業参観をWEBでできると良い。	・ オンライン予約は、現在たくさんの団体があるため予約が取れない。	・ 学校開放部も考慮した防犯システムの構築を望む。すぐに連絡できるように。 ・ 夜間など不在時に、防犯カメラのデータの管理が出来ると良い。スマホにデータを転送するなど。
総括	各関係団体からは、オンラインでの施設予約がしにくいという意見、教育経験者からは、防犯システムの構築についての意見が挙げられた。共通して体育館などの空調、オンライン授業やWEB参観などIT環境の充実、それに伴う通信環境の整備などが挙げられている。また、生徒からエレベーターについて、設置はされているが広さが十分ではないという意見もあった。				

豊山中学校改築に係る意見聴取結果一覧

項目	生徒	教職員	保護者	各関係団体	教育経験者
○ 地域開放 スペース			・ 地域開放は、現在は授業参観や運動会程度である。地域に開かれた施設にしてほしい。もっと子どもや中学校を見たいと思う。 ・ 体験や体感が重要だと思う。例えば楽器を触ったり、ボールに触る、魚を捌くなどの体験ができ、みんなと共有できる施設があるとよい。キャリア形成にも繋がる。 ・ 体育館や運動場の地域開放は良い。大人も施設が借りれると良い。 ・ 駐車場あるとよい。参観日は、徒歩や自転車で来ている。 ・ 体育館や運動場の充実。現在は貸し出してもらっている。 ・ PTAが集まって自由に活動できる部屋があるとよい。	・ 高齢者にも使い易いように配慮してほしい。 ・ 誰でも使える施設であってほしい。 ・ 野球では中学校を使用する機会はないが、地域コミュニティも大事である。他と同じようなものではつまらないので良いものにしてほしい。 ・ 地域交流として、昼間に使用していない部分の開放ができると良い。昼間、図書室開放できたら良い。 ・ 太鼓やオーケストラなどの音を出すクラブが多いので防音室が欲しい。 ・ 学校開放は有難いが、先生方の負担が増えないか心配である。 ・ 地域開放されている施設は地域毎にあるので無くても構わないが、中学校にあれば使用するかもしれない。 ・ 地域用の倉庫があると良い。現在はクラブハウス内に地域用のものがある。 ・ ジュニアリーダーでクラブの集まりが中学校で出来ると良い。中学生に活動が見せて興味を持ってもらいたい。 ・ ジュニアリーダーでも防災訓練を行いたい。防災拠点施設に宿泊することは可能か？できないのであれば、中学校で宿泊できる場所がほしい。 ・ 高齢者元気なので、昼でも夜でも学校とコミュニケーションが取れ、気軽に使えて健康が維持できる施設だとよい。 ・ 小さな町なので、位置が中央にあってみんなが集まって来ることができる場所になるとよい。 ・ 昔は学校のグラウンドは朝早く使えた。今は使えない。30年前。常に使えるとよい。	・ 図書館を町民にオープンするのもよい。 ・ 自主ボランティア、ガードマン、ボランティアでやってもらったらどうか。見守りたい。青山では登下校時にやっている。
総括	各関係団体から、地域開放として音楽系のクラブ、ジュニアリーダーなどの活発な意見が挙がっている。全体的に地域開放については好意的な意見が多いが、学校開放をした際の学校側の負担についても懸念している。他には、図書館の開放やボランティアによる地域の見守りについての意見も挙げられている。				

豊山中学校改築に係る意見聴取結果一覧

項目	生徒	教職員	保護者	各関係団体	教育経験者
○ 新しい豊山中学校の建設に関して	・ 建設工事中の学校生活にどのような影響があるか気になる。	・ 中学校が移転となった場合、スカイプールやグラウンドからの移動（公道を跨ぐので）が心配。 ・ 学力向上のための教育環境を整えてほしい。 ・ 運動施設の充実を。 ・ 運動系のイメージが強い。事務室系を充実してほしい。 ・ 生徒が朝来てから帰るまでの動線を考えて整備してほしい。	・ 地域住民に使ってもらえる施設が良い。 ・ 指定避難所になるので、防災面の充実を図ってほしい。また、快適な環境であってほしい。 ・ 建替え中の生徒の学ぶ場所や建替位置が心配である。 ・ 安心、安全第一。最近不審者の情報が多くなっている。 ・ 車椅子の子がケガをしないように配慮してほしい。バリアフリー。	・ 建設中は予約の取り合いになるのではないかと。町外から利用する人もいる。	・ 学習面、身体を鍛える、人間形成がきちっとできるように。この3つは大切である ・ 新しい場所になった場合、既設体育館を有効活用できるか検討が必要である。 ・ 小学校3校、中学校1校の小規模でユニークな形態を活かした、全学校がコミュニケーションの取れる学校ができればとまり良い。 ・ 同じ敷地内に作った場合に運動場が使えなくなるが、現地で建替するのであればその方式しかないと思う。 ・ 仮設を作らなくてもよいので、建替については賛成である。立地も公共施設に隣接していた方が良い。 ・ 建物そのものが近未来的なものか暖かみがある建物かが気になる。自分は耐震を考慮した上で、暖かみがある建物を希望する。 ・ 心配ごとは、その都度毎に解決していけばよい。 ・ 閉鎖的にならず、綺麗に保てるようにし、見通しよくすることが大事だと思う。ただし、華美すぎてテンションの上がる子供がでない程度に。 ・ 中学生の子を持つ親としては、在学中の現地建替は反対である。工事中は子供たちへの配慮が100%おざなりになる。それらが配慮できれば良い。 ・ 中学生のときに今の体育館のところで工事をしていた。とてもうるさかった。 ・ 木造でオープンスペースの学校はよかった。外は鉄筋で中は木質となっており、暖かみがあった。（郡上市白鳥中学校）
総括	新しい中学校の姿については、教育経験者より「学習面、身体を鍛える、人間形成がきちっとできる」中学校であってほしいという意見があった。また、地域や全学校とのコミュニケーションや防災面、安全面の配慮、開かれた学校について意見が挙げられていた。また、教育経験者から以前視察に訪れた中学校について、内装が木質で暖かみがあり良かったという意見があった。また、共通して、建設中の学校生活への影響、建替位置、現地建替での問題点などの意見が挙げられている。移転した場合の既存体育館の有効活用についても検討が必要である。				

豊山中学校改築に係る意見聴取結果一覧

項目	生徒	教職員	保護者	各関係団体	教育経験者
○ 豊山町らしさ	昔は水が綺麗だったイメージ。空港。三菱重工。	- 飛行機、イチロー - 体育館、グラウンド、プールが充実している。スポーツで盛り上げる町を維持していきたい。 - 豊という文字を使う自治体は県内にいくつかあるが、唯一の町が豊山町である。世界で活躍する人も出ている。町で1つの中学校という面を押し出す。 - 豊山グラウンドは野球少年・野球ファンのあこがれの場所となっている。豊山町に赴任して実感した。そのグラウンドで練習している豊山町の中学校野球部というだけで、全然知らない方からも応援をしてもらっている。地域性、歴史があるので残していきたい。	- 飛行機のまち。 - 飛行機、北部市場、田んぼなどほどよく自然が残って生活しやすい。 - 空港、イチロー	- 飛行場ができて今に至る精神は残してほしい。 - 空港のまちというイメージを出せたらよいのでは。飛行機の町。校歌にもある。 - 今あるものよりもこれからの豊山町を見据えて、新しい豊山町のイメージを提示しては。 - 先輩達が活発である。 - 空港を押し出せばよい。飛行機の音が聞こえるというのは昔から感じていた。新しい学校は、防音対策をしっかりと空港近くに作っても良いかも。	- 豊山町は中途半端な田舎。名古屋の隣だが、田舎の良さが残っている。アーバンビレッジとして両方の良さを活かされるようなものにしてほしい。 - イチローと飛行機。イチローに教壇に立ってもらったり、三菱に来てもらって飛行機の授業や講義などがあっても良い。施設面でそれらを打ち出せると良い。 - 親しみの持てる、暖かみのある、前向きに羽ばたくイメージ。積極的になってほしい。今はちょっと消極的に感じる。 - 暖かみのあるイメージと空港のイメージが上手くつながればよい。 - 田舎なのにぎゅうぎゅうしてるイメージ。田んぼや緑が減っていて、コンクリートというイメージ。学校の横が道路なので、校舎に色を入れたり一部木造にするなど暖かみがあると良い。
総括	共通して飛行機、空港、イチローのイメージが多い。豊山町は地域性、歴史のある町である。中途半端な田舎で、名古屋市に隣接してるが田舎の良さもあり、アーバンビレッジとして両方の良さを活かせると良い。新しい学校では、豊山町の地域性や歴史の継承とこれからの豊山町を見据え、暖かみのある、前向きにはばたくような新しいイメージを提示してほしいという意見があった。				
○ 豊山中学校らしさについて	- 自衛隊の飛行機がうるさい。 - 部活動が盛んで力を入れている。運動系が多く充実している。 - 文化部も以前はコンテストなどに参加していたが、最近では参加していない。	- 全天候型プール - 部活動を頑張っているのが豊山中。これから部活動がどうなるかわからないが。	- 他の学校と比べると全てが狭い。 - 子どもが礼儀正しい。あいさつが出来る。	- 現在の中学校の前の道は、メイン道路なので目印になっている。 - 在学中も卒業後も学年関係なく仲がよい。コミュニケーションがこれからの時代大切だと思う。開放的な空間があるとよい。 - 中学校に久しぶりに訪れた際に、他の地域では来訪することは珍しいと聞いた。今まで当たり前だと思っていたが、卒業後も学校に遊びに行ける、そういう雰囲気は豊山町のよいところ。	建物のどこかに飛行機のデザインを取り入れてはどうか。外部のレンガに色を入れるなど、あまり子どもっぽくないデザインで。
総括	各関係団体より、豊山中学校は、卒業後も学校に訪れていて在學生と卒業生とも仲が良いという意見があった。町内唯一の中学校でメイン道路に面しているので目印となっている。また、生徒や教職員からは、部活動が盛んで特に運動系が充実しているという意見が多い。子どもは挨拶もでき礼儀正しい。				

1 教育環境の質的向上
多様な学習形態への対応

※赤字は第5回構想会議において頂いた意見

【標準】	【要確認】	【要検討】
【全般】 地震を見据えた計画（耐震構造）とし、将来を考慮したフレキシブルな空間の確保する。 歴史性は重要なことなので、記念碑等を改めて見直す必要がある。 【教室】 普通教室、特別教室が手狭であるので、収納や机などを見直し、教室や特別教室、職員室のリーズナブルな広さを追求していく。 また、ICT活用のため、従来よりも教室の面積を広くし、机は、タブレット端末を収納できる余裕のある机を検討する。 学年単位での活動があるのでスペースの充実は必要である。 【多目的スペース】 各学年ともに、放課後の学習など多目的に使用できる学年室や、個別学習・個別指導に対するためのスペースを確保する。 廊下や階段を広くして、情報共有や展示物を設置できるスペースを設けて生徒や地域の偉い方や卒業生からの作品を発表する場を創出する。 不登校やいじめなどへ対応のできるHOTroom等の設置を検討する。また、室ではなく、広い廊下等に個別指導または相談スペースがあると良い。 【情報教育】 オンライン教育に対応したICT環境の整備と共に、GIGAスクール・ICT化を進めていく上で、情報セキュリティや外部の侵入からの安全性も必要である。また、コンピュータ室と図書室を近接または接続し情報共有できると良い。 十分な電源（コンセント）の確保とタブレット端末等の施錠付き保管スペースの設置する。 机の大きさやIT関係については、今は変革期である。タブレットの普及によるモニターの設置は確実に必要である。 【運動施設】 広大な運動場の確保と、体育館と武道場、テニスコートの整備。 【文化的活動施設】 音楽室、文化系部活動の活動スペースの確保。	【全般】 開放的な空間としながらも音の広がりや反射音などにも配慮した施設とすべきである。また、校訓「創造・責任・健康」の見える化や校歌を意識した学校施設づくり➡空港➡大空へはばたく中学生のイメージを意識した施設としたい。 【教室】 教室の天井高は、3mでは低い。天井付けプロジェクター、つり下げ式の大モニター、壁面のホワイトボード化を設置し、ホワイトボードや移動家具などはフレキシブルに使用できるものをICT化と併せて検討してほしい。 豊山中学校独自の特別教室があると良い。また階段教室があっても良いと思う。 【多目的スペース】 学年全員で共有できるラウンジなどの交流スペースや多目的スペースで、かつ、空間を広げたり、狭めたり自由度が高い設計で、併せて教科毎に先生が集うルームもあると良い。また、廊下には花が生けられるような設えがあると落ち着くと思う。 多様な学習形態に対応したラーニングスペースや生徒が自分の言葉で主張し、発表できる場所の設置。（各室のモニターで様子が視聴できるとよい。） 生徒昇降口からずっと伸びた幅の広い大階段や地域利用にも配慮した扇型の階段があると良い。避難上も有効である。 【情報教育】 校舎中央に、図書館などと連携したオープンメディアセンターを設置し、タブレット端末を活用した従来のPCや図書館と連携を図る。 【食育】 給食センターから献立情報を配信するなど、食育センター化を図る。 【その他】 地域の人たちと学校の部活や授業のあり方について、話し合うような場を設けると良い。	【全般】 移動間仕切りの活用は、仕切りはきちんとあり視界を遮っている方が良い場合もあるので検討が必要。また立地、教室サイズ、生徒数について方向付けをしなければならない。 【教室等】 グループディスカッションなどを行える空間（例. 特別教室は教科毎ではなく、国語、英語、数学などの一般教育はアクティブに使用できるスペース）があり、かつ簡単に、そして自由に変化させることのできる教室が望ましいが、従来の教科毎の特別教室と運用上どちらが良いか検討が必要。 また、電子黒板（スクリーンと黒板の兼用）の設置については、導入されている学校は多いが、実際は使われていない場合も多くあるのでヒアリング等を充分に行う。 【情報教育】 タブレット画面表示用と教員手元用にするなど設置台数を増やすことで有効に機能すると考える。 【運動施設】 体育館の観覧席への評判が良いので、新しい体育館にないと不評となるかもしれない。 【その他】 小中一貫校を目指すべきか検討をした方が良い。

1 教育環境の質的向上

学校ごとに特色のある教育環境

※赤字は第5回構想会議において頂いた意見

【標準】	【要確認】	【要検討】
【地域連携】 地域の活動スペースや展示室を設置し、休日等は地域の人たちの運動の場として提供することで、より積極的な地域との交流が望める。また、ボランティアスペースがあると良い。 【その他】 子どもの情報交換を行い、先輩教員の仕事を見て学ぶことができる職員室であると良い。	【施設連携】 まちづくりの拠点としての学校施設とするために、学校とその他公共施設の連携の観点では、ホール・図書館・グランドのあるコミュニティゾーン（豊山町第5次総合計画）へ移転する方法もある。町内の公共施設（文化施設、スポーツ施設など）との機能連携分担を検討が必要である。 また、社会教育センターとの連携を図り、生涯学習も含めた拠点施設でもありたい。その際、学校施設と生涯学習施設の施設管理上の棲み分け、役割分担を決めておくことが重要である。 【地域連携】 地域との連携は、現所在地が県道名古屋豊山稲沢線の通過側帯であり（ノンストップ）、交差点、更には公共施設のあるコミュニティゾーンへの移転が望ましい。 地域の方が日常的に学校場で学習することは必要であり、地域とはコミュニケーションの回路を開いて繋ぐことも考えなければならない。	【学校連携】 小学校と中学校の連携ならば、現所在地での建設が望ましい。現有地であれば、小学校、中学校共に古いので、小中一貫校を検討しても良いかと思う。 【施設連携】 学校の守備範囲や、怪我や事故などがあった場合のトラブルの線引きはどこまでなのかも検討が必要。 【地域連携】 ハードが軸足ではあるが、教育の内容とセットで考えなければならない。運営する側の会議が立ち上がったら協働するのも良いかと思う。

児童生徒数に対応した空間の確保

【標準】	【要確認】	【要検討】
【生徒数に対応した空間】 35人学級に完全に移行しても対応できる十分な広さと多目的な用途に対応できる机の大きさ、収納スペースを確保した普通・特別教室が必要である。また、多目的に使える教室があると良い。 50年後を見据えて自由にレイアウトできる施設であること。 【障がいを持つ生徒のための教育環境】 特別支援の必要な生徒のニーズを明確にし、適切な学習環境を検討し、教室の整備・充実を図る。 特別支援教室と普通教室との配置を検討し、普通教室や特別教室へのアクセスのバリアフリー化が必要である。障がいを持つ生徒を受け入れるレベルだけではなく、自閉症の子などがクールダウンや相談できる場所など丁寧な対応が必要。 豊山中学校がモデルとなるようなものになりたい。	【生徒数に対応した空間】 部屋数を多めに作っておき、場合によってクラスが増えた場合に転用できるようにしておいても良い。 【障がいを持つ生徒のための教育環境】 インクルーシブ教育の具体的取組みを明確にし、個性を持って学んでいける場所や思いやりの心を育む環境づくりが必要。 【生徒の心のケアのための教育環境】 相談室は、単に配置するのではなく、実際に使える室とすることが大事である。専用室プライバシーも必要であるが、有効活用を考えると多用途で使えると良い。 相談室はデリケートな用途であるため、入退室を目視されることにも配慮がある場所と捉えられている。専用と兼用については、設計段階で検討する必要がある。 相談したいことを知られたくない場合もあるので、準備室などでも行えるようフレキシブルな使い方ができると良い。	【障がいを持つ生徒のための教育環境】 障がいの種別に柔軟に対応できる教室の確保。

1 教育環境の質的向上

働きやすい執務環境

※赤字は第5回構想会議において頂いた意見

【標準】	【要確認】	【要検討】
【管理諸室】 職員室を拡張し、教科担当者毎に集まれる雑談などができる余裕のあるスペースを設ける。 男女別教職員の休憩スペースの確保や更衣スペースの拡充し、更衣室と管理諸室（印刷室や放送室、進路室等）を集約した方が良い。 校長室と応接室、中会議室の区分が必要。また、大会議室、多目的室があると良い。 【教務スペース】 管理ゾーンと教えるゾーンを明確にし、教材研究、教材作成、などのスペースの充実したクリエイティブな教えるゾーンが望ましい。 【全般】 教職員の意見を聴いてほしい。	【管理諸室】 立ち入りにくいイメージの払しょくし、職員室という言葉を使わない、訪れやすく、相談しやすい室としたい。 机配置も一般的な田の字型の横断的な配置ではなく、机のないフリースペースとし、様々な勤務形態の教職員に対応できると良い。また、教務スペースと校務スペースを峻別する。 ファイルの電子化などG I G Aスクールに対応可能な設備とする。 【教務スペース】 移動時間短縮のための教室の控室や開放的なバックヤードの設置。 【全般】 G I G Aスクール構想は教え方のみならず、先生の執務環境でも対応できるようにする。	【管理諸室】 校務全般を見直し、創造的な執務スペースとして全国のモデルとしたい。 【駐車場】 来客対応や地域の活用から、現状の駐車区画の倍は必要である。

2 快適な学習生活空間・環境への配慮

快適な学習生活空間

※赤字は第5回構想会議において頂いた意見

【標準】	【要確認】	【要検討】
【勉強に集中できる快適な学習環境】 すべての教室へのエアコンを設置と体に害のない建材の使用し、余裕のある空間の確保と維持管理しやすい配置とする。 プール・体育館と校舎は併設している方が良い。 【健康を守る快適な生活環境】 トイレの洋式化を図り、明るくて広い清潔なトイレで十分な個室の確保する。 また、感染症対策や衛生面に配慮した清掃、メンテナンスしやすいトイレとする。 清潔感のあるシャワー室や密にならないような手洗い場スペースの確保が必要である。	【勉強に集中できる快適な学習環境】 南向きの校舎配置、十分な自然採光。 【健康を守る快適な生活環境】 シャワートイレは必要か検討が必要。 【学校生活が楽しくなる豊かな空間】 生徒からのデザインの採用や教員の総合的な学習における計画への参画を検討する。 交流空間としてのトイレがあると良い。 過度に美しくしたり自動化しすぎるのはよくない。	【健康を守る快適な生活環境】 校舎の木造化、内装の木質化、R C造、S造、W造の検討。

環境への配慮

【標準】	【要確認】	【要検討】
	【環境教育の素材となる学校施設】 環境教育の教材としての学校建築、エコスクールやZ E B化の検討をする。 【省エネルギー対策】 省エネについては一般的なもので、ある程度安価な施設にしてもよいのでは。	【省エネルギー対策】 省エネ、先進的なエアコンの検討。

だれもが使いやすい学校（ユニバーサルデザイン）

【標準】	【要確認】	【要検討】
【バリアフリー施設の整備】 いろいろなマイノリティのある方の意見を聴き、段差の解消やL G B T、ハンディキャップへの配慮が必要である。 L G B T対応のトイレや更衣室の検討も必要である。	【バリアフリー施設の整備】 感染症や潔癖症の方で和式を使用する場合もある。 【ユニバーサルデザインの徹底】 ユニバーサルデザインについては一般的なもので、ある程度安価な施設にしてもよいのでは。	

3 地域コミュニティの拠点形成

学校と地域の連携・協働

※赤字は第5回構想会議において頂いた意見

【標準】	【要確認】	【要確認】
【地域との接点となる空間の整備】 まちづくり（生涯学習の視点から）➡地域住民の活用（家庭科室での料理教室・図書室での読書会・音楽教室での発表・体育館でのスポーツ指導者講習としての活用など） 【学校参加促進・利用しやすさへの配慮】 教室、職員室などの学校教育のコアとなるスペースと図書館、体育館、プール、音楽室、家庭科室など地域開放が可能なスペースは分けて考えると良い。 開放日における学校施設管理の問題➡入り口を分ける、鍵など検討が必要。地域開放玄関と生徒昇降口を峻別したい。堂々とした正門をくぐり、生徒昇降口へ向かうようにしたい。正門とは別に、建物と一体化した地域開放玄関を造る。（常時開放しない） 中学校で取り扱う種目、部活動、社会体育で行われている種目に十分に対応できる体育館、武道場、プール、テニスコートであることが必要である。 管理・運用面で「学校専有」「学校と地域と共有」「地域専有」の明確なセキュリティーラインを設定し、地域の活動スペースを設けるとよいと考える。	【地域との接点となる空間の整備】 動線分離ができれば、体育館等は授業を優先しながら空いていれば地域開放も可能となる。部活動と学校開放で行われているスポーツとの連携を図る。 地域の人達も一緒になって携わるスタイル、難しいのであれば明確にゾーンや時間での分けをし、管理などを誰が行うかを決める必要がある。施設の運用や誰が管理するのかを整理しながら、施設計画を考える必要がある。 施設は必ずしも一体型でなくても良いと思う。 セキュリティ確保に町民の目を活かす。開かれた施設とセキュリティの問題は難しいと思うが、今回の計画でモデルケースとなるような事をチャレンジするのも良い。 生徒等の安全（池田小学校＝セキュリティ）が重要である。駐車場の常時解放はしない。 他の中学校の例として、廊下をシャッターで区切る、専用門を創るなどを行っているが、駐車場などは開放されており自由に入出りできてしまうので、豊山中学校では、セキュリティもしっかりしながら、地域を受け入れる計画としたい。 教育環境への十分な配慮➡学校教育優先利用が原則防災拠点とする。また歴史を刻む記念碑の設置を行うと良い。 【学校参加促進・利用しやすさへの配慮】 地域との連携で、「開かれた学校」においては、学校と地域の話し合いの場（地域学校協働本部など）や責任主体を定めておくことが必要である。学校の先生が地域に協力を求めようとする際に、校長、教頭がかなりの時間を割かなければならない。地域にお願いすることでセキュリティ確保にも繋がる。 学校教育のスペースと地域の生涯学習スペースとでは管理のあり方についても、学校長に全て委ねるのではなく分けて考えても良いのでは。（BOT方式等） 地域コミュニティの利用が可能な区域を校内に設け、積極的に利用を促す。図書館やプールは町民に使ってもらえるよう町営とするのも良い。 複合化や多機能化による住民のための施設としての活用を前提としたプランを考える。 校舎は可能な限りの高層階とし、動線分離とフロアごとに機能を分離。学校教育施設は縮小して考えても良いと思う。 ボランティア室や展示室などを設置して学校と福祉との連携を増やし、触れ合う機会を創っていきたい。学校と他施設をIoTなどで繋いでほしい。	【地域特性を生かした教育】 地域が育む中学校として、学内に町民のためのギャラリーやミニホール整備。コミュニティ広場（芝生）として➡中庭にベンチやグローバルなイメージが校内いたるところにあるといい（モニュメントやグラント郡との交流紹介等）。また、これはソフト面も大事であり、そこで地域住民との交流が生まれる。生徒のための施設でもある。 長野県の中学校で「まちの縁側」をコンセプトに地域交流を行っている。 住民が日常的に中学校にいて、子どもとの交流や学びの場としての活動するスペースがあると良い。地域の方と同じ課題に対して、話し合える授業を設ける。 常に地域の見守りも必要であるが、学校と地域との見守り体系を明確にすることが求められる。（夕方下校時のボランティアなど）
		【要検討】

3 地域コミュニティの拠点形成

地域開放、地域施設との複合

※赤字は第5回構想会議において頂いた意見

【標準】	【要確認】	【要検討】
【地域の生涯学習のための機能整備】 町民が自由に入出りできる地域活動室を設置するなど、コミュニティスクールとしての見える化を図るが、地域コミュニティは、セキュリティの視点から、校内への入り口を完全に分け、通常は生徒たちとの接触を避けるような工夫が必要である。 地域開放を行うにあたり、1階の取り扱いについては、安全な施設配置として動線を明確に分けることも必要である。	【地域の生涯学習のための機能整備】 教育施設としてだけではなく、地域の関連性についても考えた方がよい。図書のような施設は、学校単独より他と連携することで充実すると思う。スポーツ施設なども連携することで利用率が高まり有効活用ができるが、セキュリティの問題が出る。これらを乗り越えつつ方向を目指すのが一つのベクトルになるかと思う。 図書室を社教センター図書室とリンクさせ、より充実した書籍の陳列を行い生徒たちに書籍への関心を持たせる。町内の図書館をオンラインで接続し、例えばタブレット端末から貸出予約希望し、希望した学校に届いて受け取れるような仕組みを作る。児童図書や生徒用図書は、優先的に借りれるようにすることが必要。 福祉施策と教育の縦横斜めの複合化が必要。例えば育成するためのボランティアルームなど設置し生徒との触れ合いの機会を高める。ボランティア室や展示室などを設置して学校と福祉との連携を増やし、触れ合う機会を創っていきたい。学校と他施設をIOTなどで繋いでほしい。	【地域の生涯学習のための機能整備】 屋外プールを廃止する。地域の中に1つあれば良い。 先生の負担の心配の一方で、地域開放は地域毎にあるので、なくても良いという意見もあった。町民の地域開放への熱量が不明である。 将来のビジョンを提示し、コミュニティの重要性をメッセージとして発した方がよいと思う。 実際の稼働状況を確認し、方向性を決めるにあたり、スポーツより交流センターの方が中学校にとっては良いのではないかと考えられる。 コミュニティスクールは、小学校が主軸で行っている場合が多いので、中学校のスタンスをどう捉えるか考えなければならない。

4 安全・安心な施設環境の確保

災害に対応した学校（構造・非構造部材の耐震性など）

※赤字は第5回構想会議において頂いた意見

【標準】	【要確認】	【要検討】
【地震などの災害に強い学校】 従来よりも教室のスパンを大きくした方が良い。大震災でなければ避難者ゾーンと教育活動ゾーンを別で確保することにより教育活動の妨げとならないようにしたい。 耐震性に優れた校舎の建設。耐震構造を基本とし、いたずらに免震化しない。地域の地盤特性、固有周期など、きちんと対案を含めて検討して決定。施設の維持管理費用にも直結する。耐震構造はコストが抑えられ、効果も大きい。 経年劣化による雨漏りに強い校舎の建設。 【町指定緊急避難場所としての万全な災害対策】 災害拠点として防災教育にも力を入れた、防災にも対応できる中学校と位置付ける。町の上位計画との整合性が必要。町指定緊急避難場所としての必要な設備・備品の整備（防災倉庫の充実、町民避難訓練における、学校避難訓練との連携等）し、町の中心的避難所としての役割を強化する。また、わかりやすい災害時使用設備の設置やパネルの設置など災害時に利用しやすいよう配慮する。 緊急車両の進入箇所で、通常開門できる箇所が1か所しかない状況である。	【町指定緊急避難場所としての万全な災害対策】 町の防災への観点も検討が必要他施設との関連もあるので、どの程度のスペックとするか町の方針を決めなければならない。 避難所となる際は体育館、および地域との共同利用スペースに限定する。普段から動線分離の意識を持ち、発災時およびその後の学校教育活動の妨げにならないようにしておく。 また、災害時の災害対策本部は、職員室のオープンスペースでないと機能しないと思う。机のないフリースペースは必要である。 震災時にストレスで徘徊したり、校内トイレを使用してしまったという問題があったと聞く。震災時も教育を続けて行くためには誘導や切り分けもが必要になる。 避難時のプライバシーの確保、特に障がい者への配慮が重要である。	【町指定緊急避難場所としての万全な災害対策】 今後30年以内に70%の確率で起こる東南海トラフ地震を見据えた計画としたい。 町内の中学校は1校であるので、災害時の中学校の役割、防災教育にも力を入れた、防災対応型中学校としたい。

4 安全・安心な施設環境の確保

日常の安全性確保（事故防止、防犯）

※赤字は第5回構想会議において頂いた意見

【標準】	【要確認】	【要検討】
【教職員が見守りやすい環境】 職員室に近接して管理諸室を集約し、センター機能を果たすようにする。 【防犯対策による安心な学校】 各所に防犯カメラを設置やPTAパトロールの強化などを行い、安全対策を講ずることができるようにする。地域の活動スペースとの明確なセキュリティーラインを設定する。 【日常の事故を防止】 現状の駐車場では危険である、歩車分離ができていない所が多く、駐車台数が少ない。 【（新）コロナ禍から将来へ】 ソーシャルディスタンスを担保と校内全体の換気システム、または風の流れを考慮した窓の設置。感染症対策として、手洗い場は、密にならず、多く設置する。 抑止力の強化や立地を考えた自然換気計画。 現在立派な観覧席があるので、コロナ対策や演奏会次鑑賞時に、1学年（200名）をフロアと観覧席で分けることができ、ソーシャルディスタンス上も有効である。	【教職員が見守りやすい環境】 中学校でのメンタルのことを考えると対応は必要である。保健室登校のための出入口などについて、養護の先生に聞く機会があると良い。 各学年には、学習室（学年室）を配置し、各階でのセンター機能を果たせるとよい。校内に教師コーナーを分散設置の必要性については検討必要。実際分散しても使用されていない事例はたくさんあるので、建築と運用についても検討が必要。 最近では、保健室を2か所設け、心と体、岐阜県の事例では男女別の先生で分けている学校もある。 【防犯対策による安心な学校】 地域開放との在り方で変わるかと思う。長野県の学校では、門は常時開いていたり、塀がなくどこからでも入れる形となっていた。地域とのつながりを大事にしていくことも必要。 防犯の強化対策として、地域の人が多く訪れるのであれば、大人から安全を示す必要がある。日常の事故防止として、施設開放をするのであれば、現状の駐車場では危険である。動線を考えると建物から離れた場所に駐車場があると良い。 【日常の事故を防止】 避難時の安全性を考慮し、広い階段・廊下の設置。感染症対策として、全箇所自動水栓への切換えや各教室に必要な応じてアクリルパネルの設置を考慮した方が良い。	【日常の事故を防止】 地域エリアと学校エリアと隔離するのではなく、一緒にいることで抑止力となる考えもある。学校と地域との関係性を考えると難しいかもしれないが、地域活動協働を前提に、日常的に同じ空間にいるのも良いかと思う。 地域のコミュニティスペースの中に中学校があるようなイメージ。 動線から考えると建物から離れた場所に駐車場があると良い。

5 財政負担を軽減する効率的な施設整備・運営
計画的な整備、敷地利用の効率化

※赤字は第5回構想会議において頂いた意見

【標準】	【要確認】	【要検討】
【施設、敷地の効率化】 改修・移転については幅広く、住民アンケートを実施が必要。意見聴取の実施については十分な検討を行うこと。 移転或いは現地建替で補助金の差はあるのか調査してほしい。	【施設、敷地の効率化】 小学校や保育園との連携や交流していくことも大事である。初めからそれらを視野に入れておくのも良い。 また、G I G Aスクールなどあるが、設置型などを採用した場合に将来使えなくなる可能も考えられる。 【学校運営を極力支障無く継続しながらの施設整備】 生徒・教職員の安全・安心に十分に配慮した整備・運営を望む。また、計画・設計段階において関係者参画の検討体制を整え、開校後の運営に備える。 ネーミングライツ、クラウドファンディング、P F Iなどを検討。ただし、P F Iの場合は丸投げせず、役場がきちんと参画しイニシアチブをとり、部分的に任せるなどする必要あり。町で継続した体制を整える必要がある。	【施設、敷地の効率化】 建設予定位置について説明をしてほしい。 小中一貫教育を希望するが、中学校改修、移転を最優先とするなら、小学校の統廃合を十分に検討し、豊山小学校の改修をしてほしい。 移転の場合、地区的には志水地区について心配である。もう少し突き詰めてほしい。 【学校運営を極力支障無く継続しながらの施設整備】 プールは、町内全校を一か所に統合し、維持管理費の削減を試みる。 工事期間中の学校運営、安全確保の点では移転が望ましい。ただし跡地利用を同時に計画すべき。現地建て替えの場合は、一般的に計画条件が厳しくなる。仮設校舎を建てない前提の場合、さらに厳しくなる。中学校の建替、移転については十分な意見収集時間が必要である。 主体を自治体か民間のどちらで行うか決定し、学校運営を極力支障なく継続しながらの施設整備の検討。 建設、移転等の負担を、当該年度の生徒だけに負担させない。

維持管理に配慮した施設計画

【標準】	【要確認】	【要検討】
【将来にわたる維持管理・更新に配慮した施設】 生徒の急増・急減に対応できる余裕教室の確保する。将来35人学級編制になっても対応できる教室数の確保が望まれる。 将来、大部屋を区分けし利用できるようにできると良い。 余裕教室は生徒の調べ学習や発表授業にも有効に使用することができる。	【将来にわたる維持管理・更新に配慮した施設】 50年後の学校教育の内容や方法が、現在のような教室型であるかどうかの先は読みにくい。 50年そのまま使う校舎という発想ではなく、改修・改築にフレキシブルに対応できる施設という発想も必要ではないか。 20～25年ごとに、ある程度の大規模改修を見越した予算立てと維持管理費を考えて計画を策定。基本的に建物を含む設備に関しては、できるだけ維持管理の負担が少ない様式を検討する。 メンテナンスしやすい設備を兼ね備えた校舎づくり。メンテナンスを行いながら長寿命化を図るモデル校となしてほしい。地域住民による学校サポートを組織化し、メンテナンスなどの協力を得ることも有効である。	【将来にわたる維持管理・更新に配慮した施設】 将来のリノベーションを念頭に置くならば、木造またはS造が良い。

事業手法について

事業手法	概 要	実施主体				特 質			導入事例
		資金 調達	設計 建設	管理 運営	施設 所有	効率的な施設整備	設計・建設費の支出	設計・建設期間	
従来方式	- 設計事務所による設計業務完了後、建設会社に建設業務を仕様発注し、建設会社が建設業務を実施する（設計・建設業務の分離発注）。 - 町が基金・一般財源・起債等によって、設計・建設費を調達して、設計事務所、建設会社に支払う。 - 施設の完成後、維持管理会社に管理運営業務を別途発注し、持管理会社が管理運営業務を実施する。	町	町	町	町	・設計・建設・管理運営業務を分離して仕様発注するため、民間の技術的能力を活用した 効率的な施設整備が難しい 。	・設計時や建設時に 一度に多額の支出が発生 する（起債を活用することで、財政負担を平準化することも可能）。	・設計・建設を分離発注するため、工法を見据えた設計や一貫した工程管理ができず、 設計・建設期間の短縮が難しい 。	現豊山中学校
D B 方式	建設会社等に設計・建設業務を一括して性能発注し、建設会社等が設計・建設業務を実施する。 - 町が基金・一般財源・起債等によって、設計・建設費を調達して、建設会社等に支払う。 - 施設の完成後、維持管理会社に管理運営業務を別途発注し、民間事業者が管理運営業務を実施する。	町	民間	町	町	・設計・建設業務を一括して性能発注するため、設計・建設を通じて民間の技術的能力を活用することで 効率的な施設整備が可能 となる。	・設計時や建設時に 一度に多額の支出が発生 する（起債を活用することで、財政負担を平準化することも可能）。	・設計・建設を一括発注するため、一貫した工程管理のもとで 設計・建設期間の短縮、新校舎の早期供用が可能 となる。	宗像市立城山中学校（福岡県）
P F I 方式	民間事業者（事業を実施する特別目的会社）に資金調達・設計・建設・管理運営業務を一括して性能発注し、民間事業者が各業務を実施する。 - 設計・建設費の調達は、全額を民間資金で調達する場合、基金等と民間資金で調達する場合がある。 - 施設を町が所有する場合（BTO 方式）と民間事業者が所有する場合（BOT 方式）がある。	民間	民間	民間	町 又は 民間	・設計・建設・管理運営業務を一括して性能発注するため、民間の技術的能力を活用することで 効率的な施設整備や管理運営が可能 となる。	・民間事業者が設計・建設費を立て替え、町は複数年（15～30 年）に渡って分割払いすることで 毎年の支出を抑えることが可能 となる。	・設計・建設を一括発注するため、一貫した工程管理のもとで 設計・建設期間の短縮が可能となるが、民間事業者の選定に時間を要する 。	東郷町立兵庫小学校
リース方式	民間事業者（リース会社）に資金調達・設計・建設・管理運営業務を一括して性能発注し、民間事業者が各業務を実施し、施設を所有し、町にリース（建物賃貸借）する。 - リース期間終了後、施設の所有権を町へ移転する場合と施設を解体撤去する場合がある（町へ移転する場合が多い）。	民間	民間	民間	民間	・設計・建設・管理運営業務を一括して性能発注するため、民間の技術的能力を活用することで 効率的な施設整備や管理運営が可能 となる。	・民間事業者が設計・建設費を立て替え、町は複数年（5～10 年）に渡って分割払いすることで 毎年の支出を抑えることが可能 となる。	・設計・建設を一括発注するため、一貫した工程管理のもとで 設計・建設期間の短縮が可能となるが、民間事業者の選定に時間を要する 。	名古屋市立菊住小学校

- ・ D B 方式 ：Design Build（デザイン・ビルド）方式の略。設計・施工一括発注方式ともいう。
- ・ P F I 方式：Private Finance Initiative（プライベート・ファイナンス・イニシアチブ）方式の略。
- ・仕様発注：発注者が示す仕様（寸法、面積、材料、工法等）どおりに受注者が建築物等を建設する発注方式。受注者は仕様どおりに建設することになるため、受注者の技術的能力を活用することが難しい。
- ・性能発注：発注者が求める性能を規定し、受注者はその性能を満足することを要件として建築物等を建設する発注方式。受注者の提案によって、受注者の技術的能力を活用し、効率的な施設整備が可能となる。